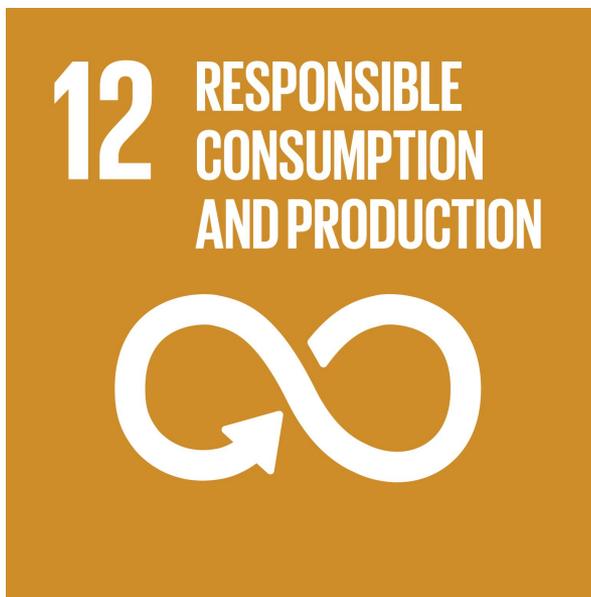


電子レシートの 可能性

長野県上田染谷丘高校 1年5組 氏名 森田麻央

○この課題に関わるSDGsの番号

12 つくる責任つかう責任



15 陸の豊かさも守ろう



○テーマ設定の理由

○販売者にとって、レシートは
受け渡す手間や紙のコストがかかる

○消費者にとって、レシートは
かさばってしまい管理が大変

○必要のない紙媒体のレシートを削減できれば
地球環境問題に大きく貢献できるのではないかと思ったから



○現状

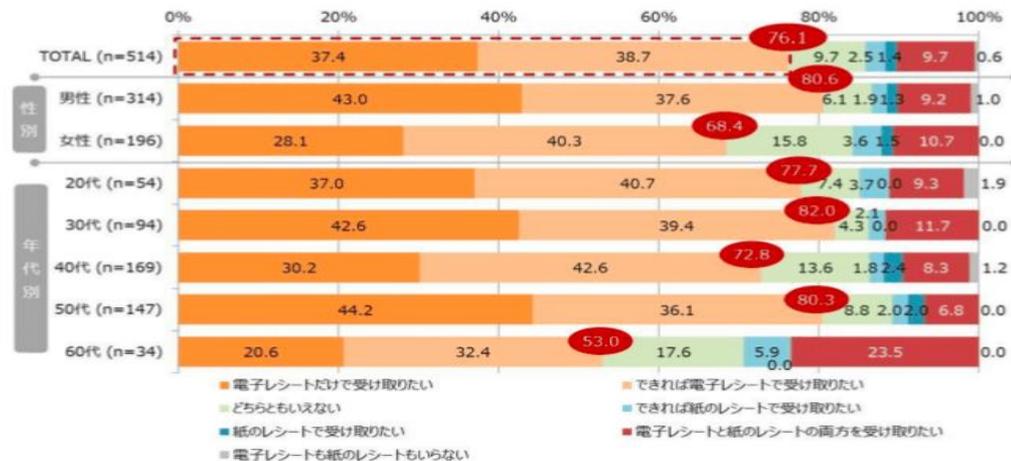
- ほとんどの店舗で紙媒体のレシートが使用されている
- 全国で1年間に消費されるレシート用紙は、**約5.4万トン**
(A4サイズのコピー用紙**約135億枚**に相当する)
- 電子レシートの支持率は**約90%**



アンケート結果③

- アンケート回答者の8割弱の方が、今後の買物でも電子レシートを受け取りたいと回答。
- 「電子レシートと紙のレシートの両方を受け取りたい」を加えると、9割弱が電子レシートを支持する旨の回答を得られた。

質問：あなたは、今後も買物のレシートを「電子レシート」で受け取りたいと思いますか？



○課題

○販売者にとって、電子レシートは
新たなレジを購入する必要があり、コストがかかる

○消費者にとって、電子レシートは
第三者に情報が漏洩する危険性がある



○10代からの提言

○上記の販売者、消費者それぞれのメリット、デメリットや地球環境問題を考慮すると電子レシートを普及させることは未来のわたしたちにとって、非常に有益なのではないかと私は思う。



○感想

スライドを作成するのは、苦手だったけれど
ちゃんと伝えたいところは目立つように意識して取り組めた。
改行したり、色をつけたりと工夫できた。
わかりやすいスライドを作れる人のことを
本当に尊敬します。